

(1) 組合だより

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合

発行 昭和51年10月1日 第34号 印刷・アート印刷株式会社



収穫の秋
を迎えたが、
全道的に豊
凶の激しい

中で当地域は牧草、畑作共にお、
むね良好のようであり喜ばしいこ
とです。而し馬鈴薯は全道的に生
産が多くことしはとくに供給過剰
の傾向

このような状況にあり澱粉等畑作
物の政府基準価格要求運動が強力
に行われつゝある（澱粉要求価格
三、八〇〇円）九月八日には東京
に於て全道五百人の動員で大会を
開催し要請運動を行ったが当組合
からは組合長始め生産者代表を含
め七名が参加した。而し状況は、
経済抑制と政局混迷のなかにあり
極めて厳しい。（なお基準価格は、
十月に決まる予定）

さて当組合の澱粉工場は清里農協
の要託もあり管内出荷前に処理
する為九月一日から操業したが、
ことしは管内生産も多く嘗つてな
い処理となる見込みである。

而し販売は前述の状況にあり順調
でない。随つて共計参加を重点に
取り進めたいので是非皆さんの、
ご協力をお願いしたい。

参事 成田 武

根室管内が大幅増加

牛乳生産順調な伸び

農林省道統計情報事務所の発表によると、最近道内の牛乳生産は、谷で五月、一万一千頭の一一・六順調な伸びを見せている。同所の発表によると前年同月比で五月七・一%、六月五・〇%増加。特に根室管内での大幅な伸びが目立っている。

発表によると五月に全道で生産された生乳生産量は十三万三千七百で前年同月に対し七・一%の増加。五月は最も乳量の伸びる月であると同時に前年の伸び率が低下したためもあるが極めて高い率になっている。

ひきつづき六月は絶対量では五月をオーバーする十五万六千六百で前年同月に対しても六%の増加を示したことに、この二、三年低迷していた状態からすると好調な伸びに転換していることを示している。

特に好調な要因となっているのは根室管内。五月に二万三千を生産し一一・一%もの伸びになったのにつづき、六月の三万七で八・七%増加シエアが高いだけに全体の伸びを大きくしている。また釧路管内の五月、一万六千も一

〇・六%増を示すもの。同時に宗

%アップ、そして干ばつの影響を受けながらも六月一万四千で七・八%増になったのは大きい。

この結果を見ると道東、北の主産地での伸びが目立つ。ただ中でも最大のシエアをもつ十勝で五月には二万八千で七・〇%アップになつたものの、六月には三万一千で三・四と比較的に伸びなかつたのと、網走の五月四・三%、六月三・二%が主産地の中では逆に目立っている。

こうした中で、一月からの生乳生産実数は、七十万七千になり、前年より五・四%増加している。うち飲用牛乳には約八万八千が向けられており、一二・三%増で推移している。

こうした中で、一月からの生乳生産実数は、七十万七千になり、前年より五・四%増加している。うち飲用牛乳には約八万八千が向けられており、一二・三%増で推移している。



乳質改善ニュース

未経産牛の乳房炎を防ごう

ノサンバエの経済的退治法
放牧中の病気として最近問題になっているものに、未経産牛の乳房炎があります。

泌乳能力がなくなる
未経産牛の乳房炎を発見するのは、大抵乳房が腫れてからです。この時にはもちろん熱や痛みもあり、しばつてみると凝固乳のような分泌物や悪臭のあるウミがでてきます。

普通の乳房炎は、適切な治療をすれば治って再び搾乳できますが、未経産牛の場合は一旦かかると見掛け上は治つたようでも、分娩後に搾乳してみると乳が出ないことが多いのです。これは若い乳腺組織(乳を作る部

分)が壊れると元通りに治らないことがあるからです。

原因はノサンバエか

未経産牛の乳房炎の原因については、まだはっきりと判っていないが、どうもノサンバエが発生する時期に多いようです。

ノサンバエが乳房乳頭とくに乳頭口附近にたかつて血を吸うと表皮や粘膜に傷がつき、そこから病原菌が侵入し乳房炎になると考えられています。

そこで、未経産牛の乳房炎の予防には、ノサンバエの退治が重要

なポイントとなるので

効果確実
で経済的な
予防法

ノサンバエは牛糞に卵を生みつけ、それがドンドン虫になります。

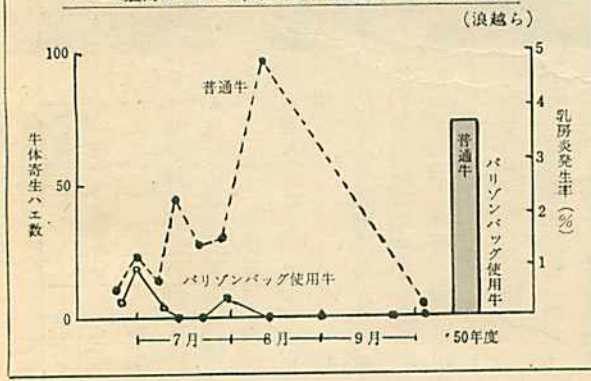
ですから、時たま殺虫剤を草地にまいたり、牛体にふりかけたりす

る位では大した効果は期待できません。

ノサンバエの駆除は、常時おこなうことが肝腎ですが、草地にまくのでは薬代もかさむので、牛体への散布の方が経済的です。

それには、バック(市販名バリゾンバック)に殺虫剤を入れて水飲み場や給塩場への牛の通路に吊り下げて、牛が通る時に自動的に薬がふりかかるようにする方法が便利です。

ハエ駆除による未経産牛乳房炎の予防効果



北海道ホルスタイン共進会で好成績

上ケ島 国雄さん 一等一席
 篠永 栄さん 二等一席

昭和五十一年北海道ホルスタイン共進会は九月十一・十二日の二日間、勇払郡早来町家畜共進会場に全道各地区からの優秀な乳牛が集まり開催された。

中標津農協から上ケ島国雄さん（南侯落）、篠永 栄さん（北武佐）の二頭が出陳した。

上ケ島さんが第十一部にダイヤモンド・クロス・クイーンを出陳、見事一等一席と、篠永さんが第十二部にカーネーション・フィールド・ラッキーを出陳二等一席に入賞しました。



第1部1等1席 ダイヤモンド・クロス・クイーン



第12部2等1席 カーネーション・フィールド・ラッキー

根室税務所だより

◎ 老年寄りと税金

お年寄りの方には、所得税の軽減を図るため、次の制度があります。

【老年者控除】

納税者の方御本人が六十五才以上で、年間所得が一千万円以下であれば、合計所得金額から二十万円が控除されます。

【老年者年金特別控除】

納税者の方御本人が六十五才以上で年間所得が一千万円以下であって、年金や恩給など公的年金を受けている場合は、特別な控除として公的年金の年収総額から七十八万円が控除されます。

【老人扶養控除】

扶養親族のうちに、七十才以上のお年寄りがおられる場合には、一般の扶養親族の控除額よりも六万円多い三十二万円が控除されます。

【障害者控除】

寝たきり老人の場合は特別障害者として二十八万円が控除されます。
◎ 贈与税のあらまし

贈与税は、その年の一月一日から十二月三十一日までの一年間に他人（法人を除きます。）からもらった財産の価額の合計額が六十万円をこえるときにかかります。

【夫婦間贈与の場合の配偶者控除】
婚姻期間が二十年以上である夫婦の間で行われる居住用不動産、又は居住用不動産を取得するための金銭の贈与については、基礎控除のほかに一千万円が控除されます。

【贈与税の計算方法】

税額は、一年間にもらった財産の価額の合計額から六十万円（配偶者控除が受けられる場合は、一千万円）を差し引き残額に税率をかけて計算しますが、次の速算表を使うと簡単に求められます。

課税標準額	税率	税額
50万円以下	10%	5万円
50万円超～100万円以下	20%	10万円
100万円超～150万円以下	30%	15万円
150万円超～200万円以下	40%	20万円
200万円超～250万円以下	50%	25万円
250万円超～300万円以下	60%	30万円
300万円超～350万円以下	70%	35万円
350万円超～400万円以下	80%	40万円
400万円超～450万円以下	90%	45万円
450万円超～500万円以下	100%	50万円
500万円超～550万円以下	110%	55万円
550万円超～600万円以下	120%	60万円
600万円超～650万円以下	130%	65万円
650万円超～700万円以下	140%	70万円
700万円超～750万円以下	150%	75万円
750万円超～800万円以下	160%	80万円
800万円超～850万円以下	170%	85万円
850万円超～900万円以下	180%	90万円
900万円超～950万円以下	190%	95万円
950万円超～1,000万円以下	200%	100万円

【申告と納税】

贈与税がかかる人は、翌年の二月一日から三月十五日までに所轄の税務署へ贈与税の申告と納税をすることになります。

組合員のための農協論

『教育文化活動』とは何か

京都府立大学助教授 藤 公 築 次

「教育文化活動」とは何か。言葉としてはよく使われているのだが、中の理解はみなさ

んの中で意外にまちまちなのでないだろうか。この点について理解の仕方を書いてみよう。

「教育文化活動」という言葉がいつごろから使われるようになったか是不勉強で確かめていないが、おそらく震源地は家の光協会内部であろう。家の光協会の立場で言えば、「教育文化活動」とは、協会のもちもの事業を、農協段階で積極的に活動するための活動”を総称する言葉だと言えよう。

「教育文化活動」という言葉は、

家の光事業をどう位置づけ、どう活用するかという各農協のさまざまな試みと努力の中で、しだいに定着し、その意味内容が明確になって来たと思われる。

「教育文化活動」は多彩な内容をもっている。わたしはその中身を、まず二つに大別して考えている。第一は「教育・広報活動」、第二は「生活・文化活動」だ。この二つの活動領域は、密接に関連し合っているが、実は活動の性格は非常に違うことに注意してほしい。すなわち、前者の「教育・広報活動」は農協の事業活動ではない。これに対して後者の「生活・文化活動」は農協の事業活動である。農協法（第一〇条）の中

「農村の生活及び文化の改善に関する施設」とあるのがそれだ。農協の事業活動には信用・共済・販売・購買といった経済的的事业活動と非経済的的事业活動がある。組合員の営農と生活を協同の力（組織力）で守り、向上させていこうという農協運動の目的にとつて、経済的的事业活動が物質的な豊かさや安定の上できわめて重要な役割を演じなければならぬことは言うまでもない。しかしそれで運動目的はすべて達成されるのか。農村の現実を直視すれば、農村の生活様式や文化水準の改善・向上のための事業活動も非経済的的事业活動に劣らず重要な課題ではないか。農協法はこの点を明記しているわけだ。

最近では健康を守る活動が全国の多くの農協できわめて重要な活動として取り上げられている。時代の流れを反映したさまざまな講習会などの学習活動が組織されるようになってきた。農村の人々が

みなで楽しむ活動（レクリエーション活動）が活発になって来たのも最近の特徴といえよう。これらの活動は、決して経済的的事业活動の単なるお添えものであつてはならない。

本来、農協で積極的に取り組むべき独自の事業分野なのであり、農協運動の目的に照して欠かすことのできない重要な活動分野なのである。

非経済的的事业活動は収益が得られる活動ではないから、その費用は賦課金や実費負担でまかなわれるか、組合員の総意をふまえて年度末の剰余金の一部を蓄積して充当するなどの工夫がなされなければならない。

これに対して「教育・広報活動」は先述したように農協法第一活動ではないのである。農協法第一〇条のどこにも事業活動の一種として組み込まれてはいない。それは当然のことであつて「教育・広報活動」と「生活・文化活動」という事業活動の前進のために家の光協会の各事業がどう活用されているか。その活用の仕方が各活動の成果を大きく左右するのである。

（家の光ニュースより）

報活動の農協の経営活動なのである。つまり農協が農協として存在し、正常で有効な事業活動を続けていくことができるかどうかは、重要な経営活動の一環をなす「教育・広報活動」、つまり、組合員並びに役員に対して協同組合教育がどれだけ十分に行われているか、さらに、これらの各関係者に対して広報活動がどれだけ徹底して行われているかにかかっている。

教育活動と広報活動は組合員組織の育成と並んで農協にとつてのかけがえのない力。組織力を培養・強化する決め手であることは、これまで繰り返して強調して来たところだ。

牛舎では
禁煙
しましょう

牛とミルクと
干し草のために



たしかに牛舎の内には燃うやすいものがいっぱいあります。夏に汗して作った干し草も火事になれば一瞬にして水のアワです。牛にとつても同じ事でしょう。

又、ミルクは臭いの付きやすい食品と聞きます。せつかくのおいしいミルクもいやな臭いが付いてしまつてはだいいしです。「タバコを吸わない人の権利を守る」という事が最近話題になってます。現在禁煙が徹底している所と言えば電車やバスの中と、映画館の中ぐらいのものでしょう。

そこで、酪農家の皆様とこ一語に「牛舎の内はタバコを吸わない所」にしようではありませんか。

いわがりの秋の草地管理

根室農業試験場 草科課長 平島利昭

今年春先の牧草の冬枯れが少なく、またその後の天候にも恵まれて一番草の作柄も良く、調整も順調のようでした。二番草の刈取りも現在、若干の天候不順が気になります。今年の貯蔵飼料もほぼ目安がついた段階と思います。

ところで、これから大切なことは秋の草地管理です。従来はとかく冬の飼料さえ準備できたら、あとは来年だということ、秋にはほとんど草地管理に無関心でした。しかし、春に種子を蒔いて、秋に収穫して終るといふ馬鈴薯などと異つて、牧草の場合には、今年収穫した牧草を、来年再び再生長させて利用します。畑作では、来

年の再生産のために良い種子を準備することが大切ですが、牧草でも同様に来年の再生長を良くするように、秋のうちから立派な株や根を作っておくことが必要です。これが草地における秋の管理が大切な理由です。

牧草の越冬と秋の利用
根室地方の草地では、牧草がしばしば冬枯れることは、大なり小なり経験していることと思ひます。試験場では、この数年間、いろいろの角度から冬枯れについて研究してきました。その結果によりますと、秋に低温になりますと、牧草は地上部の生育は鈍りますが、同時に株や根が大きくなり、翌春に伸びる小さな茎が増加します。また厳しい冬の低温に耐え、越冬中の生きるためのエネルギーとして、株や根に貯蔵養分が増加します。したがつて、冬の気象条件にもよりますが、牧草が冬枯れせずに安全に越冬し、翌春順調に再生するためには、越冬前の株や根に十分な貯蔵養分があることが必要です。

株や根の貯蔵養分は、草種にもよりますが、一般に八月下旬から十月中旬頃までに急速に増加し、十月下旬以降はそれほど増加しません。また、この貯蔵養分は、牧草を刈取りまたは放牧によつて利用しますと減少します。これは、利用後の牧草がこの養分を使つて再生するからです。

つて、越冬前までに再び養分が蓄積されます。ところが、十月上旬頃に利用しますと、再生のために使われた養分は、もはや越冬前までに回復せず、少ない貯蔵養分のまま冬を迎えることになりま

す。十月下旬以降になりま

す。既に養分は十分に蓄積され、また利用後の牧草は低温のため再生しませ

んのので、貯蔵養分も減りません。

以上のことから、十月上旬に刈取りや放牧しますと、翌春の冬枯れや再生に悪い影響があることがわかります。とくにオーチャードグラスではこの傾向が大きいので注意する必要があります。

秋施肥とふん尿の施用
従来、草地に対しては、牧草の収量を高めるために早春および刈取り後に追肥してまいりました。しかし、秋には、もはや牧草の地上部の生育が期待されないため、最終利用後には追肥しないことが慣例となつてまいりました。

そこで試験場では、秋のいろいろな時期に、草地に対して追肥してみました。その結果、秋に追肥した肥料の一部は、秋のうちに牧草に吸収され、株や根に蓄積し、また翌春に伸びる茎の数を多くしました。また残りの肥料は土の中に残つており、春早く牧草によつて吸収されました。その結果、春

の牧草の生育開始が早く、従来の春施肥に比べて約一週間早く放牧できました。しかし、秋施肥した牧草は、五月末までの生育は良いが、六月以降では、春施肥の方が勝つており、秋施肥は五月一杯有効なことがわかりました。したがつて、採草の場合は春施肥でも良いが、面積が広いため春に全面積の追肥ができない場合には秋施肥が十分に有効と思われま

す。

一方、秋施肥は施肥時期によつて肥効が若干異なります。十月中旬までに秋施肥した牧草は、株や根が大きくなり、翌春再生する茎数を増加し、草生密度を高めます。ところが、十月下旬以降の秋施肥では、このような効果が若干減少し、むしろ肥料は土壤中に残つており、それが翌春の牧草に吸収されるようです。つまり、春追肥の代替的な意味が強くなります。

以上のことから、十月上旬中旬に、二番刈り後の追肥を行うとよいと思ひます。

もよいですが、緩効的なきゅう肥やスラリーの施用が有効と思われま

す。しかし尿の多用は冬枯れを多くすることがありますので留意して下さい。冬の舎飼期に同つてきゅう肥置場やスラリー貯溜槽をなるべく空けておかなければなりません。この面からも秋のきゅう肥施用は欠かせない作業です。

酪農問題 研究報告会の開催について
10月21日 午後一時より

十勝平野で都築一美成実験農場を自営している都築利夫氏を招いて酪農に関する研究報告会を左記により開催致しますので多数御出席下さい。

日時 十月二十一日(休) 午後一時～四時
場所 中標津農協大会議室
報告事項 「現代の大型酪農経営と食糧政策」——「西独大型酪農と美成農場をフィロムにより比較報告」

婦人部だより

婦人部若妻の集い開催

九月十七日に養老牛温泉、花山荘で婦人部若妻の集いを開催した。日頃集まることのない若妻の人達にとっては楽しみにしていた一日だったと思う。

出席者は三十一名で子供達も何人か連れてきていたので、にぎやかだった。

初めに自己紹介をしてから、今日の講師の先生である北農中央会教育広報次長、加納八郎氏の講演が始まった。

テーマは「農村におけるこれからの若妻に期待すること」ということでした。

ことで資料に基づき話すがすめられた。その中で「子は親の鏡」という言葉を言われた。親が情熱を持ってやっている仕事を見ていて、子供になんらかの影響を与えると、そういうことによつて後継者問題はなくなるのではないかと。

また一番に自分の生活を考へてからまわりの人のことを考へてやるというように話をしていた。

昼食は皆でお膳を囲んで食べた。午後からは加納先生をまじえて、皆で話し合いをした。

話し合の中でどうしたら皆が集まるかという問題に対し、隣同士とそい合つて来るのが一番いいのではないかと意見があった。

またこれから何をしたらいいかということに對して、希望とし次のことがあげられた。



- ①おやつ作り方
 - ②視察旅行
 - ③皆で楽しく遊べる
- 話し合が終つてから三〇分ぐらい休憩して、帰ってきた。

婦人部研修視察旅行終る

去る九月十三、十四日に婦人部研修視察旅行を行った。

参加者は二十六人、外三人合わせて二十九名だった。

また参加者が少いために、バスの中は皆それぞれらくに座ることができた。

最初の日の視察地である道農協牛乳音更工場へ向つてバスは出発した。ここでは係の人から音更工場のできるまでの話しと、牛乳、バターのできる過程の説明を聞き、農協でも売っているよつ葉3.4牛乳のパックにはいるまでの過程を見せてもらった。

次に清水町にある大谷牧場へ向つたバスの中からは、こちらへんでは気候が悪くてよく育たないといわれているデントコーンを見ることのできた。

大谷牧場へつくとその御主人が牛舎の中を案内してくれた。

牛舎の中には大型の牛がたくさん並んでいた。また日頃牛にたずさわっている部員の人達が少しでも勉強していこうと、いろいろ質問をしていた。またここでも飼料間をしていた。またここでも飼料として牛にデントコーンを食べさせていた。

視察する所をすませて宿泊地である十勝川温泉征井ホテルへ向つた。ホテルへ着いてから皆で集まつて、今日見てきた所の感想などを三〇分ぐらい話し合った。

夕食の時は歌などもとびだして楽しく過ごした。

次の日は残念なことにひどい雨のため、行くはずになっていた真鍋庭園を中止した。

バスはまたきのうきた道を引きかえすだけなので、ゲームしながら楽しく帰つて来た。



土谷牧場の見学



宿で視察先の話し合をする

農協婦人部

四年連続優勝する

町婦連協大運動会

八月二十九日第六回婦連協大運動会が、保育所グラウンドにて行われました。

ブラカードをもってグラウンドに入場整列、町長さんよりはげましの御言葉を戴き、昨年の優勝チーム我が農協婦人部よりカップ返還審判長より競技についての注意を受け、母ちゃんらしく正々堂々戦う事を誓い、十時三十分よりいよいよ競技開始。



4年連続優勝の農協婦人部

先づ全員でラジオ体操をし体の機能を柔らげます。ふだん体操をしていないので、体が固く思うにまがりません。今年も町婦人会、柳会、養老牛母の会、農協婦人部の四チームで勝負をきそいます。十一種目の競技どれも面白い物ばかり、みんな一生懸命、声もかればかりの応援振り、一日童心にかえってたのしみでした。今年も若妻の方々の参加者が多く、大

変心強い思いをしました。お母さんお嫁さん揃ってこられ、お嫁さんに声援を送るほ、笑ましい姿も見られた。競技種目によって若い人、年寄りに分けてみんなが出られる様に心がけました。昨年まで三年連続優勝していたので、今年も他単位団にゆずつてもい、と云う考えで、のんびりした気持ちでした。午前中は総合点数も悪く三位でした。昼食時、事務局から沢山の差し入れがあり、みんなでごちそうになつた。青空の下でおべんとうをひろげて食べるのも又たのしいものです。午後からリレーにそなえて、

選手を決め作戦をねる。リレーにどうしても出てもらいたい人、それは武佐の工藤さんです。綱引もリレーもこの人がいれば百人力です。忙そがしい中を無理を云って来てもらいました。綱引は我がチームは力強い人ばかり勢揃い、もう自信満々「ワッショイ」のかけ声に合わせて力いっぱい引っぱり、圧倒的に強く堂々一位、町の奥さんから「さすが農協婦人部は強いね」とほめられる。最後の花形は何んと云つてもリレーより抜き四人と最終ランナーは各単会の会長が走る事になり、安達部長もは巻姿もさつそうと走りまわりました。大きく差をつけて一位。わあつと歓声が上る、万歳、今年も又逆点優勝四連勝をかざり優勝杯と、表彰状をもらい農協においてあります。

今年も若妻の方々の活躍振りが目立ち、とても嬉しく思いました。皆さん本当に御苦労様でした。来年も頑張ります。

田中マツノ記



農作業事故防止の徹底を!!

農作業事故防止の徹底を!!

農作業事故防止については、周知徹底をお願いしてまいりましたが、この程、根室支庁長より特段の注意を要するよう通達がありましたので御協力をお願いします。

記

一、無免許運転の防止について
最近の人手不足から中学生、高校生、婦人及び実習生など無免許にも拘らずトラクターの運転をしている場合が見受けられるが、こうした無謀運転は必然的に事故を招くことになるので絶対に行なわないこと。

二、過労運転の防止について
短期間にしかも好天時を見はからつて作業するために運転時間も長くなり休憩も不十分な場合が多い。

疲労は必然的に注意を散漫にして事故を誘発するので過労運転を行なわないこと。

三、正しい運転操作の励行について

事故の原因の多くは、一寸した不注意や無理な運転操作から起つている場合が多い。
機械の調整、異物の除去などは確実に機械を止めてから行なうこと。

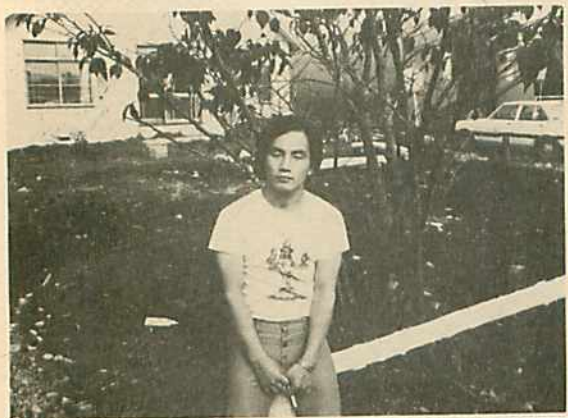
* 実習生ですよろしく!! *

今月は竹下牧場の実習生四人を紹介します。

森 洋一郎君 (二十七才)

佐賀県出身。日本獣医大学畜産学科を卒業、去年七月下旬から八月上旬まで短期間であったが竹下牧場に実習した。今年四月から来ている。期間は三年ぐらいやってみよう。

三人姉妹の末っ子。自分のやりたいことは、一応やらせてもらえるので北海道の酪農を勉強し、将来については、あと二、三年実習して決め、酪農をやれない場合はきっぱりあきらめる。という。



宮川弘幸君 (二十一才)

宮崎県出身の四人姉妹の末っ子。竹下牧場へは今年三月。それまでは、標津農協管内の酪農家に二年半ほど実習した。

来年の三月まで竹下牧場においてあと一カ所ぐらい勉強し、将来を決めるが、今のところまだ考えていない。

標津農協は北農中央会に紹介してもらった。東武佐の児玉牧場で実習している大平君とも実習生の友達。体こそたいして大きくはないが、根性があり、一生懸命がんばっている一人です。



西形明美さん (十九才)

標茶町出身、女ばかりの四人姉妹の三番目で家は酪農家をやっています。姉が結婚していて、「私が後継者です」と酪農に意欲をもっている彼女。

今年三月標茶農業高校を卒業。四月二十日から竹下牧場に来ている。期間は一年実習します。

竹下牧場を知ったのはお父さんが直接竹下さんに来て娘を頼むと去年の春休みに二週間来たのがきっかけ。

「仕事は、奥さんといっしょに家事のこをやっています。」



山田和幸君 (十八才)

長崎県出身、農業高校を三月に卒業、少し家を手伝って七月七日から竹下牧場に来ている。

家は農家をやっているもので北海道の酪農を勉強したいと去年八月の一カ月高校の夏休みを利用して来た。竹下牧場を知ったのは宮崎大学卒の知人の紹介です。

長男であるため、家を継ぐため来年の七月まで一年間実習をし、勉強をしたい。現在実習生が女子一人を含め六人いるのでたのしく仕事をしています。

青年部だより

産地馬鈴薯 即売会を行なう

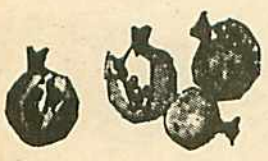
農協青年部、畑
作部会（亀代部会
長、部員二十六名
）は共同耕作した
馬鈴薯を九月十日農協前広場で安
値販売した。

部会員は耕作技術を共同で学ぶ
一方、三年前から町の人たちに地
元産の馬鈴薯を味わってもらおう
と、毎年収穫がはじまる前に行っ
ているものです。

今年九月七日の日、一般農家
薯を用意し売り続けた。

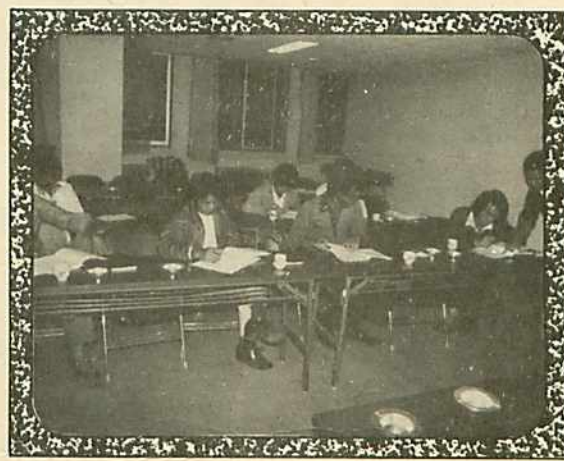


このあと、反省会を開
きこれからも毎年この
ような即売会を行な
うと張り切っている。
(畑作部会 報道部)



牛乳生産費記帳の 勉強会を行なう

(経営部会)



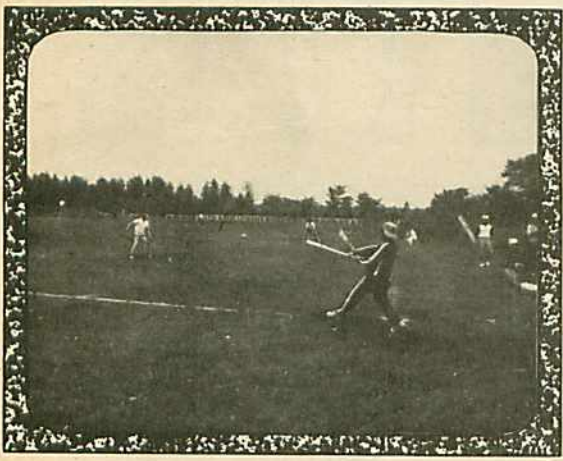
説明を聞く部員

農協青年部経営部会（中
林忠雄会長）は事業計画に
基づき、五十一年度牛乳生
産費調査を記帳する勉強会
を九月二日午後七時三分
より農協中会議室にて行っ
た。

北農中央会の高平さんを
講師に部員九名中、八名が
出席し記入の仕方について
熱心に勉強をした。

第二俣落支部が優勝

青年部ソフトボール大会



ソフトボール大会風景

青年部主催ソフトボ
ール大会が八月十九日、俣落小
学校グラウンドで開催され
た。

支部対抗で、五支部が参
加しトーナメントで試合が
行なわれた。

その結果、第二俣落支
部が決勝で開陽支部を敗り優
勝した。

終了後、ジンギスカンを
食べながら青年部活動の意
見交換をした。



一日皆貯金の 日近づく

17日～20日

10月18日→21日

例年の通り十月十七日は、国民皆貯金日です。中標津農協としても全国の貯蓄運動にともない全力を上げて推進しております。貯蓄によって、不時の出費、教育旅行と、色々の目的の為に、将来不安のない生活を過ごしましょう。年を追うごとに理解も深まり、好成績をおさめてまいりました。今年も昨年と同様に組合員のお宅に職員が全戸回りますのでよろしくお願い致します。



お送りしまして「十月十八日より二十一日まで四日間」の間に集金に参上致しますので、多少にかかわらずよろしく願います。今年も、参加賞全員、抽せんにより当せん者には粗品を差し上げます。

第5回 花だんコンクール実施



北根室地区農業改良普及所主催の花だんコンクールが八月三十、三十一、九月一日の三日間なわれました。例年行なっているののでいづれもアイデアなどいろいろと工夫をこらしすばらしい作品ばかり。

中標津農協管内から八十二戸参加され、後日審査会が行なわれ賞が決まる。

婦人部員の方々の御協力に対し厚くお礼を申し上げますと共に、又来年も願います。

します。

日本大学実習生の記録

コンボイした牧草は車に積んで畑から家の近くまで運ぶ。



東京・釧路をフェリーで三十三時間（さすがつかれました）



仕事の合い間にちよっと記念に（武石先生・研修生・農家の方）



（釧路・中標津汽動の中でかわいい女の人からもらったカニを食べごきげん



朝夕の搾乳の手伝いなれたものです。（オーバーホールを着ていますがいいですか？）



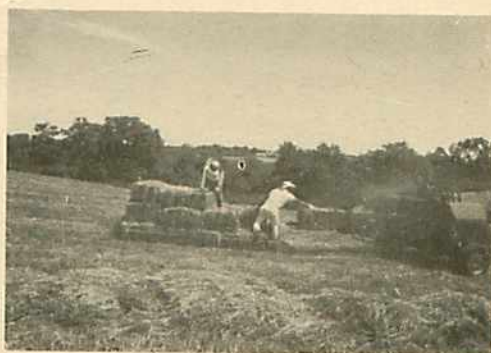
ようやく中標津駅に着きました。＊よろしくお願ひします＊とはりきっていましたが…



待ちに待ったバス旅行天気はいいし、彼女たちと写真を写し（もてる男はつらいな）



着いた翌日から牧草コンボイの仕事37度のあつさ。（ペーラーのあとでコンボイを調整する仕事もなれたもの）





共 済 組 合

キヨウサイクミアイ



「共済二十年」

昭和44年 発行
ご希望の方にさし上げます

共済組合の歴史を取録した記念誌「共済二十年」が、まだ幾分残っておりますので、ご希望の方にさし上げます。

これは当共済組合が昭和二十四年に創立してから、昭和四十四年まで、二十年間にわたる組合の内容を取録したものです。最近二、三の方から希望がありましたし、その後入植された

44年発行の記念誌「共済二十年」



かたもありませんので、一応その内容の紹介もかねてご案内致します。

この本はA5版(一四・八cm×二十一cm)、ゴート紙で、文章は横組みになっています。ページ数は一二六、昭和四十四年十二月二十日の発行

本文は六章からなっており、それに前書き、写真集、付録がついています。

◆前書き
発刊のことは、設立二十年を祝して、記念誌発行によせて

◆写真集
目で観る二十年の歩み——二十年間の主な出来事を写真でつづつたもの。

◆本文
第一章 総論
中標津の沿革、気候風土、組

合設立のしよう、概要などをのせています。

第二章 事業
農作、家畜、人工授精等の事業内容の変遷等を二十年にわたって記録している。

第三章 統計
前記各事業等の動きを数字の上からみたもの。

第四章 名簿
歴代組合長、代表監事、参事を写真入りで紹介、その他役員、総代、総代会議長等についてのものであります。

第五章 回顧
二十年の間に、共済組合に関係深かった方々より、想い出の寄稿をいただいたもの。

第六章 年表
組合の行事等を年月日順に振り返つたもの。

◆付録
共済組合マークの由来をはじめ、牛乳生産の番付表などをのせています。

以上簡単に説明致しましたがご希望の方は、さし上げますので、共済組合まで申出てください。

共済日誌

8月20日～9月20日

8月20日 共済職員健康検査(中標津農協)

8月21日 中標津町議会正副議長長就任挨拶のため来所。

8月23日 総務委員会開催(共済組合)

8月24日 ハリ麻酔講習会(獣医師会根室・釧路支部主催(共済組合))

8月25日 廃用畜連合会現地立会認定。

8月26日 根室管内外国産優良雌牛指導管理協議会(根室生産連)

8月27日 役員協議会(共済組合)。経理担当者会議(農共連根釧出張所)。

8月30日 計根別地区業務打合せ(計根別支所)

8月31日 計根別農協業務打合せ(計根別農協)

9月1日 獣医師会根室支部幹部会(共済組合)

9月6～7日 北海道獣医師会大会、学会(旭川市)

9月9日 廃用畜連合会現地立会認定。病傷事故審査及び

広報委員会議(農共連根釧出張所)

9月11～12日 全道ホルスタイン共進会(早来町)

9月13～14日 三菱化成鈴木常務一行来町。

9月17日 家畜人工授精技術者研究発表会(釧路市)

9月20日 家畜事務研修会(別海町共済組合)

農業共済新聞

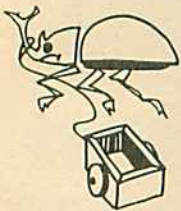
農業共済新聞を読みましよう、これは、全国共済協会(東京)

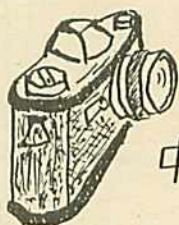
が一週に一度発行しているもので、共済の内容、制度のしくみ、それに営農技術など、たいへんわかりやすく解説しています。

また北海道版には、地元共済組合の職員が取材した身近な話題なども沢山のついています。

一カ月の購読料は二五円と大変安いので、あなたも是非読んでみてください。

新聞は東京から直接あなたの手もとにとどきます。希望の方は、農業共済組合へ連絡下さい。





カメラ訪問

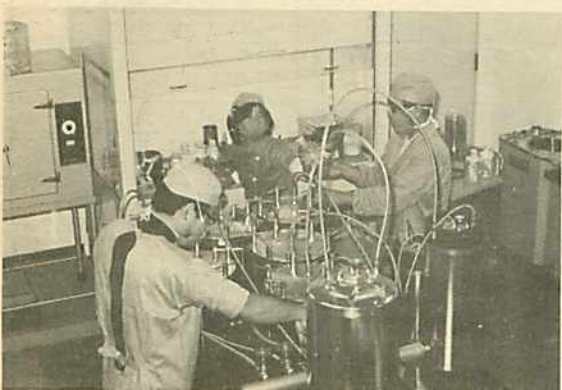
中標津町血清センター

(1)



中標津血清センターの全景

(西6南11)



菌を取りのぞく作業をすすめる血清センター職員



責任者の阿部武丸さん

◇ ◇ ◇

今回から、日頃私たちに深い
か、わりを持っていて職場や、
人々を訪問し、その近況等をた
ずねてみることにしました。

初回として登場いたゞくのは
雄仔牛の関係で、深いか、わり
をもっている「中標津血清セン
ター（中標津町西六条南十一丁
目）です。

◇ ◇ ◇

血清センターの名称は、株式
会社三菱化成生命科学研究所中
標津血清センターという長たら
しい名前で、その仕事の内容等
について、あまりよく知られて
いないというのが実情のよう
です。

しかし、現代社会において、
大変重要な仕事をしているとい
えます。

というのは、最近もつとも恐
れられている病気「ガン」の研
究をする場合、この血清がなく
てはすゝめられません。

それに、各種伝染病等の研究
にも、この血清は欠かすことが
出来ないわけです。

こうした人間の生命を守る上
で、欠かすことの出来ない病原
の探究に、この血清は、その土
台をなしているともいえるので
す。

その血清を、中標津血清セン
ターでは、供給しているわけで
あり、しかも、中標津の血清は
大変良質であるということ、
関係方面からの希望も多い。

それでは、血清センターの中
標津での仕事はどんな内容なの
かを聞いてみました。

まず、仔牛の採血から始まる
わけですが、中標津と場を集め
られた生まれつきの雄仔牛
から、独特な方法で、血を抜き
とる。大体一頭の仔牛から一・
八リットルの血がとれる。

たゞ、この場合、仔牛が初乳
を飲んでいないという条件が
つけられている。

この点について血清センター
の責任者である阿部武丸さんは
「初乳を飲ませないという点で
は、生産者の大変な協力を得ま
して、これが良質の血清を生む
結果の一つと感じ、感謝してい
ます」といっている。

こうして、とられた血は遠心
器で分離し、〇・一ミクロンの
フィルターを通し、細胞試験、
コレステロールなどの化学検査、



検定を終わり、ピン詰された血清

それに、無菌試験などを行な
つて、一連の検定を終えたものは
ピン詰めにして東京方面へ送ら
れるわけである。

血清は、最近の病気の多様
化にともない、その需要は多く
なるばかりで、中標津血清セン
ターでは、生産者の皆さんの一
層のご協力をおねがいしたいと
いうことでした。

雄仔牛が生まれたら、初乳を
飲ませず、農協の方へ連絡すれ
ば、農協で取りに行くようにな
ります。

さて、終りに血清センターのス
タッフを紹介しましょう。
責任者が阿部武丸、宮崎康弘、
白坂美恵子、八木原和代、木幡
秀子の五名。

さて、今回は、道家畜改良事業
団道東事業所を訪問の予定です。

種別	組合員名			種別	組合員名			種別	組合員名			種別	組合員名										
	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬								
コ	白田 穰	1	0	1	バ	板橋松 寿	0	0	1	第二俣落地区													
コ	新谷 正二	1	0	2	バ	岩井 昇	0	1	0	コ	西村 徳守	2	2	2	コ	内山 勲	2	2	2				
コ	井口 精一	2	0	0	バ	服部 一好	0	1	1	コ	西垣 洋一	—	—	—	バ	八木原 明治郎	0	0	1				
コ	川上 茂	1	0	0	バ	遠藤 太一	1	0	0	バ	保科 清	2	2	0	バ	中浦 健夫	0	0	0				
コ	石橋 喜作	0	1	0	バ	遠藤 幸吉	0	0	0	バ	松岡喜代之助	0	0	0	バ	前原 秀隆	1	0	0				
コ	長谷川 寿	1	2	0						バ	田代 昭	1	2	1	バ	町田 芳照	0	0	0				
コ	花尻 武夫	2	1	2	バ	高橋 正三	0	1	1	バ	井ノ口 定則	0	1	1	バ	房川 喜清	0	0	1				
バ	中条 由治	0	1	1	バ	松村 晴由	0	0	0	バ	安江 八五郎	1	1	0	バ	宮脇 正治	0	0	0				
バ	中条 幸作	0	0	0	バ	小山 美芳	0	1	0	コ	剣持 広昭	0	0	0	バ	滝本 信孝	1	0	0				
バ	奥村 保章	1	0	0	コ	本村 正春	0	0	0	コ	斎藤 別	0	1	1	バ	富沢 保男	1	1	0				
コ	萱岡 信二	0	0	0	バ	菅原 清	0	0	0	コ	白石 孝治	2	2	1	バ	谷村 茂夫	1	1	1				
バ	高橋 昌信	0	1	0	バ	上村 太平	0	1	0	バ	山口 広幸	1	1	1	バ	武田 三郎	0	0	1				
コ	中塚 秀夫	1	1	0	バ	上村 政則	0	1	0						バ	藤井 弘美	0	0	0				
コ	黒田 定利	0	0	1	コ	上村 力	1	0	0	バ	沖 一美	1	1	0	バ	北村 一仁	1	1	0				
バ	藤原 勝一	1	0	0	バ	松本 勇	1	0	1	バ	片岡 宅次	0	0	1	バ	杉本 匡視	0	0	0				
					バ	藤原 信男	1	1	1	バ	弾正 原正春	0	0	0	バ	佐藤 載康	0	0	0				
コ	秋山 実太	0	0	0	バ	遠藤 忠義	0	0	0	バ	国光 昭	1	1	0	バ	松本 金市	0	0	0				
コ	佐藤 春行	1	1	0	バ	山下 鉄男	1	1	1	バ	遠藤 直行	0	0	0	バ	欽野 一郎	1	1	1				
コ	佐藤 一二	3	1	0	バ	阿部 幸一	0	0	0	バ	佐伯 柁次	1	1	0									
コ	清原 太郎	2	1	1	バ	上ヶ島 春雄	0	0	0	バ	来栖 寛	0	0	0	バ	横田 国雄	0	0	0				
バ	湯山 稔	0	0	0	バ	山崎 翠	0	0	0	バ	川村 清身	0	0	1	バ	竹下 日吉	0	0	0				
コ	湯山 幸男	1	1	0	バ	藤田 貞蔵	0	0	0	バ	加藤 繁	0	0	0	バ	柳田 治郎	0	0	0				
コ	湯三宅 要	1	0	0	バ	藤田 誠一	0	0	0	バ	萩原 蝶七	0	0	0	バ	青木 喜三	1	1	1				
コ	門馬 四郎	1	1	1						バ	星野 昇司	0	0	0	バ	青木 重次	0	1	0				
コ	中塚 文夫	2	0	0	バ	剣持 幸男	0	0	0	バ	星野 盛恵	0	0	1	バ	関 又左工門	0	0	0				
バ	石原 竜雄	1	0	0	バ	遠藤 与畏二	0	0	0	バ	滝本 勇雄	0	0	0	バ	横田 好一	0	1	0				
バ	西井 武	0	1	1	バ	宮田 正晴	0	0	0	バ	滝ヶ平 初美	0	0	0									
バ	土井 上友一	1	0	1	バ	鷲見 孝男	0	0	1	バ	滝ヶ平 茂	0	0	1									
バ	土井 上政雄	1	1	0	バ	真部 愈	0	0	0	バ	滝ヶ平 妓夫	0	0	1									
バ	小沼 佐太郎	0	0	0	バ	渡辺 利秋	0	0	0														
バ	熊谷 正	0	1	0	バ	田代 良司	0	0	0														
バ	山本 雪信	1	0	1																			
バ	真野 米光	1	1	1	バ	相沢 武雄	1	0	0														
バ	寺島 今朝松	0	1	1	バ	太田 俊昌	0	0	0														
バ	佐藤 憲治	1	1	0																			
バ	佐藤 忠男	0	0	1																			
バ	佐藤 和夫	0	0	0	バ	古瀬 敏弘	1	1	0														
コ	塩田 専治	2	2	2	バ	小谷 盛一	0	0	0														
コ	五十嵐 徳次	2	1	0	バ	秋山 政富	0	0	0														
					バ	斉藤 富吉	0	0	1														
コ	田中 清司	0	0	0	バ	広瀬 定夫	0	0	0														
コ	山本 秀夫	0	0	0	バ	半沢 勇雄	2	1	1														
コ	安達 武蔵	1	0	0	バ	笠原 良夫	0	0	0														
コ	志賀 安尾	0	0	0	バ	武田 伊三郎	0	0	0														
コ	志賀 正治	0	0	0	コ	後木 章	2	2	2														
コ	篠永 鉄雄	0	0	0	バ	久保 花次郎	0	1	1														
コ	篠永 静男	—	—	—	コ	松本 豊治	2	2	2														
					バ	新井 真	0	0	0														
					コ	片野 博	1	0	1														
					コ	唐崎 幸司	0	0	0														
俣落地区																							
コ	原 藤子	0	0	0																			
コ	大木 敏夫	0	1	0																			
コ	小林 金司	1	1	1																			

ランク別	0	1	2	3	4	5	合計
上旬	191	101	27	1	0	0	320
中旬	187	109	24	0	0	0	320
下旬	210	95	15	0	0	0	320
合計	588	305	66	1	0	0	960
合格率	61.2	31.8	6.9	0.1	0	0	100

地区旬	当幌	中標津	俵橋	開陽	武佐	第二俣落	俣落	平均
上旬	100	100	100	100	98.3	100	100	99.7
中旬	100	100	100	100	100	100	100	100
下旬	100	100	100	100	100	100	100	100
月平均	100	100	100	100	99.4	100	100	99.9

酪農に関する 環境衛生研修会の 開催について

公衆衛生知識の向上を図るため
環境衛生研修会を次により開催致
しますので多数御出席下さい。

記

日時 十月十二日(日)十時～十二時
場所 中標津町老人福祉センター
一 (計根利市街)
参集範囲 酪農民他
内容 講演
テーマ 「酪農に関する環境衛生について」

講師 西武先生

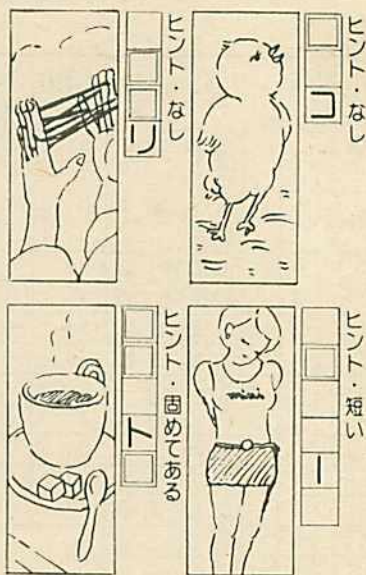
(帯広畜産大学名誉教授)

(西環境科学研究所長)

●尚、参加者は各農事会長へ



くいいず???
あなたもやってみよう



【解き方】
四枚の絵を見て、連想される言葉をマス目
の中に入れてから二重アタの七文字をうま
くならべかえると、ある言葉ができます。その
言葉だけをハガキに書いて送ってください。

★応募規定★

①官製はがきに答えを書いて送つて下さい。

②氏名・年令・住所

③対象 小・中学生

④宛先 中標津町東七条南二丁目

中標津農協 組織農政係

×切日は十月十五日

※正解者十名に記念品贈呈、正解者多数のときは、抽選で決めます。

人事異動

〈異動〉

昭和五十一年九月一日付

青山麗子 (共済係) ↓ (経理係)

石橋照雄 (経理係) ↓ (共済係)

堤 洋子 (金融係) ↓ (管理係)

吉田智恵子 (管理係) ↓ (金融係)

昭和五十一年九月六日付

入倉英夫 (生乳係長) ↓ (管理係長)

暮しのアイデア

ポテトのお好み焼き

材料 ジャガイモ三・四個、カタクリ粉大サジ二、バター、塩、コシヨウ少々、ハム、トウモロコシ、エダマメ、ニンジン、タマネギ適量。

作り方 ①ジャガイモはゆでて裏ごしし、塩、コシヨウ、カタクリ粉を入れてつき混ぜる。②フライパンにバターを熱し、小型楕円形にのぼしたポテトを焼き、ハム、さつとゆでたニンジン、トウモロコシ、エダマメ、軽く炒めたタマネギなどをせてオムレツ風に包む。しょう油、あるいは酢じょう油、トマトケチャップをつけていただく。

